

シュルツ効果はひとまず不発

発表日：2017年3月27日(月)

～前哨戦の州議会選でSPDの票が伸び悩む～

第一生命経済研究所 経済調査部

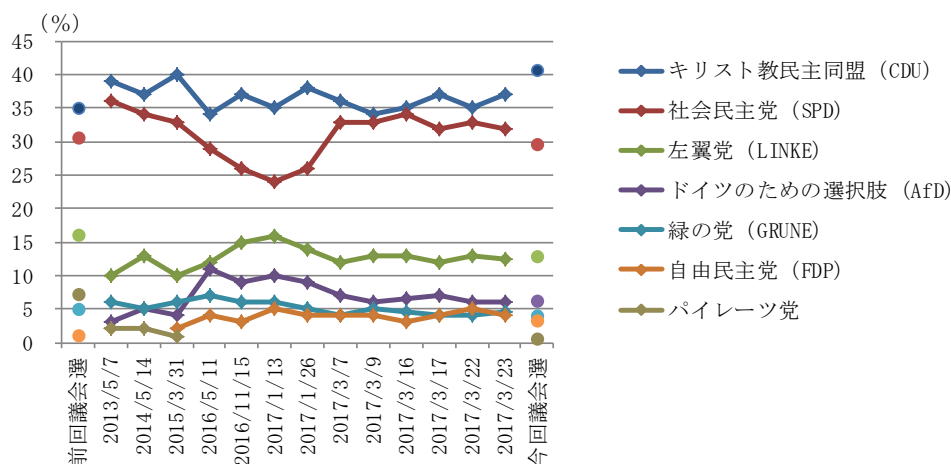
主席エコノミスト 田中 理

03-5221-4527

◇ SPDがシュルツ氏を首相候補に擁立後で初の州議会選は、メルケル首相が率いるCDUが第一党の座を死守。SPDの獲得票は事前の世論調査を下回り、シュルツ効果は不発に終わった。

シュルツ前欧州議会議長が社会民主党（SPD）の首相候補に選出されてから初となるドイツの州議会選が26日にザールラント州で行われた。今年に入って初の州議会選は、各種の世論調査でのSPDの党勢回復が本物か、9月24日に迫る連邦議会選挙の行方を占ううえでも注目を集めた。結果は、メルケル首相が率いるキリスト教民主同盟（CDU）が2012年の前回議会選を約5%ポイント上回る40.7%の支持を獲得して第1党の座を死守（図）。SPDは前回から約1%ポイント支持を落とし29.6%で第2党にとどまった。シュルツ氏の首相候補への擁立が伝えられた1月末以降、同州議会選の世論調査でもSPDが支持を伸ばしてCDUに迫っていたが、実際の投票結果は世論調査に比べて伸び悩んだ。他党は概ね世論調査通りの結果に終わったが、SPDと左翼党（LINKE）とともに左派連立を模索する緑の党（GRUNE）が議席獲得に必要な5%に届かなかった。ザールラント州議会運営は、国政レベルと同様に、CDU主導の政権にSPDが協力する二大政党による大連立。今回の選挙結果を受け、次期議会運営も同様の組み合わせとなる可能性が高い。5月に行なわれる2つの州議会選でシュルツ効果が改めて試される。

（図）ドイツ・ザールラント州議会選挙の世論調査と投票結果



注：棒線は世論調査、●印は議会選投票結果
出所：各種世論調査より第一生命経済研究所が作成

以上